

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 本巣松陽高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年6月24日(月) 13:10~15:10
- 3 開催場所 本巣松陽高等学校 银杏館会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

会 長	川治 秀輝	本巣市教育長
副 会 長	長屋由喜子	公益財団法人加藤記念奨学会理事(欠席)
委 員	石川 孝信	もとす広域保護司
	大草 由美	元PTA会長
	高橋 旦	PTA会長
学 校 側		
	鵜飼陽一郎	校長
	服部久美子	教頭
	小泉 佳子	事務長(欠席)
	日比 学	教務主任
	山本 博	生徒指導主事
	川田 朋子	進路指導主事
	山口 直美	研修主事
	鈴木 優子	健康教育部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) スクール・ミッション策定について

第4次岐阜県教育振興基本計画と本校の社会的役割等について確認をした。第2回学校運営協議会では、スクール・ミッション(案)についての意見交換を行う予定である。

(2) 学校経営方針、スクール・ポリシーについて

校長から説明した。

(3) 教育指導の重点及び学校経営計画について

教務(研修)、生徒指導、進路支援、健康教育の順で資料の説明を行った。

意見1: (「社会の課題と未来」への関心についての生徒アンケート(5月実施)結果より)本校の生徒は、「自分の国に解決したい社会課題がある」ととらえる生徒が全国平均よりも多いのに、「社会課題について、家族や友人など周りの人と積極的に議論している」と答えた生徒は少ない。思いはもっているが議論はしていないと考えられる。授業の中で生徒同士が議論する場面を作ることが課題ではないか。

意見2: 受験だけを生徒が目標にすると、授業中の姿勢も受け身になってしまうのではないかと。生きる力を鍛えることを意識させ、学校生活の中に議論する文化をつくってほ

しい。

- 意見 3 : 中学生やその保護者にとって本校卒業後の進路は大変興味がある。進学先などについて中学校へ積極的に広報してもらいたい。
- 意見 4 : スクール・ミッションを作成するにあたり、今、在籍する生徒が本校に来てよかったと思うことを考えてもらいたい。
- 意見 5 : 授業については一律一斉からの脱却が必要である。授業の特色を出してもらいたい。楽しい学校とはどのような学校かを教員が議論できるとよい。
- 意見 6 : 昨年度の地域課題探究の発表会で地域ファシリテーターとして参加した時、大人が思いつかないような生徒の発想に感銘を受けた。今年度もそのような発表の場を作ってほしい。
- 意見 7 : 一見大人しそうだが、内に秘めた闘志をもっている生徒がいる。原石を磨いて輝かせてほしい。
- 意見 8 : 「実体のないいじめ」は防ぎようがないいじめであると思うが、生徒間にしこりが残らないように対応してもらいたい。
- 意見 9 : バレーボール部とソフトボール部を校内の強化指定部としているが、さらに強化する仕組みを作って学校を盛り上げるとよい。
- 意見 10 : 部活動を通じて自律した生徒を育てることも大切である。監督の指示がなければ動けない生徒では困る。生徒自らが自分たちで考えて動けるチーム作りこそが公立高校の良さではないか。

(4) 授業見学について

- 意見 1 : 実験に ICT を利用するなど創意工夫された授業だった。今後も生徒の興味を引き出す授業をたくさん行ってもらいたい。
- 意見 2 : 美術の授業では、7分でデッサンができることに感心させられた。
- 意見 3 : 生徒が落ち着いて授業に取り組んでいる様子がよくわかった。
- 意見 4 : 授業ではアットホームな雰囲気が伝わってきたが、生徒が活発に発言し合う場面を見せてほしかった。

6 会議のまとめ

第 1 回学校運営協議会では、今年度の本校の学校経営方針を踏まえた教育指導の重点及び学校経営計画について全委員より承認が得られた。また、どの委員からも活発に意見が出され、本校の課題や解決のための具体的な手立てについて貴重な示唆を得ることができた。

今回の学校運営協議会でいただいたご意見は、早速本校の職員間でも共有し、未来志向で積極的に改善の糸口を探っていきたい。

第 2 回学校運営協議会では、スクール・ミッション (案) についての意見交換を行う予定である。